

「日本の産業革命」の評価
 ー資料活用力、思考力・判断力を中心にー

徳島県貞光町立貞光中学校 中西 俊治

1 はじめに

現在、観点別による絶対評価が実施され、さまざまな評価方法が開発されつつある。社会科においては、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の4つの観点が設定されている。私は、1つの単元の中でこれらの4つの観点についてどのような達成目標をたて、どう指導し、どのような評価をしたらよいかを考えてきた。しかし、毎時間の授業で4つの観点すべてを評価するのは難しいと思う。1単元の中で4つの観点の評価ができればよいと思っている。

「知識・理解」の指導と評価方法は以前から研究がすすんでいる。「関心・意欲・態度」は観点別評価の実施にともないさかんに論議されている。「技能・表現」「思考・判断」については、とくに歴史学習では、今後指導と評価の研究が期待されると思われ、私自身も強い関心を持っている。そこで、本稿では教科書p.172～177「日本の産業革命」を取り上げ、おもに「技能・表現」「思考・判断」の指導と評価方法について述べる。それは、近現代の歴史の中で具体的なデータがあり、歴史評価について考えやすい題材だからである。

そこで私はこの題材で、

- ・日本は日清戦争、日露戦争のころ、軽工業・重工業の2段階で産業革命を成し遂げたことを、生産高・輸出額などの資料を通して理解できる。
- ・日本の産業革命の結果・影響・社会問題を資料を通して理解でき、その功罪について考え、自分なりの判断ができる。

という目標を設定し、授業を行った。

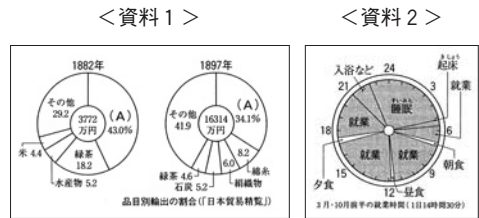
2 資料活用力を評価するテスト例

私は資料活用力を、資料を見つけて集めることのできる「資料収集力」、集めた資料を表やグラフにできる「資料作成力」、資料から様々な事実が読みとれる「資料読みとり力」などがあると考えて

いる。

この題材では「資料読みとり力」の評価を主とした、昨年度実施した定期テスト例の一部を紹介する。

資料を見て、各問いに答えなさい。



- (1) 資料1で、1882年から1897年の間に輸出額は約何倍に増えたか答えなさい。(小数点以下を四捨五入すること)
- (2) 資料1の(A)にあてはまる輸出品の名前を書きなさい。
- (3) 資料2に最も関係の深い事項を、下から一つ選び記号で答えなさい。
 ア 鉄鋼業 イ 造船業
 ウ 製糸業 エ 運輸業
- (4) 資料2は次のどの労働条件に関係が深いか、一つ選び記号で答えなさい。
 ア 低賃金 イ 長時間労働
 ウ 若い労働者 エ 悪い環境
- (5) 悪い労働条件を改善するために、労働者たちはどのようなことを行ったか、次のことばを使って、簡単に答えなさい。
 [労働組合 ストライキ]

この問題は、「日本の産業革命」の時期の輸出額の変化と製糸業における女工の労働時間を示したグラフを読みとる問題である。これらの問題の他に、資料1では、輸出品の額を計算させたり、輸出品の比較をさせる問題も考えられる。また、資料2では、実際の労働時間や休憩時間を答えさせることもできる。

課題としては、「知識・理解」を含む問題もあるということ、授業の中で扱った資料を使用する

ため、「覚えていれば答えられる問題」になるということである。

3 思考力・判断力を評価するワークシート例

思考力・判断力を育成する指導として、日本の産業革命の善し悪しを価値判断させる授業を行った。この授業は善し悪しを決めることを目的とするものではない。そうすることで、産業革命の影響を一面的ではなく、よかったこと悪かったことを多面的に理解することができる。また、生徒は歴史上の事実を受け身で学ぶのではなく、自分なりの歴史評価をすることで、主体的に学ぶことができる。さらには、それにより政府・資本家・労働者・農民・公害の被害を受けた人など当時の人々の心情に迫ることができるからである。

まず、産業革命を成し遂げたことで、日本にはどのような利点があったかを考えさせた。よかったこととして、次のようなことなどがある。

- ・工業製品の自給率が高くなり、輸出がふえた。
- ・豊かになり、経済が発展した。
- ・植民地にならずにすんだ。

次に、問題点について考えさせた。

- ・農民の貧富の差が拡大した。
- ・労働者は悪い労働条件で働かされた。
- ・足尾銅山鉱毒事件が起こった。

そして、総合的に考えて日本の産業革命はよかったのか、悪かったのかを考えさせた。その際、その理由も考えさせた。

そして、次のようなワークシートを実施し、評価を行った。

日本の産業革命の光と影

2年()組()番 氏名()

1 日本は、産業革命を達成したことで、よかったことを答えなさい。

2 どんな問題（悪いこと）がおこったか答えなさい。

3 あなたは、日本の産業革命はよかったと思いますか、悪かったと思いますか。

その理由も答えなさい。

ア よかった

イ 悪かった

理由

4 あなたは、どうすべきだったと思いますか。

設問1は産業革命のよかった面、設問2は産業革命の悪かった面を問う設問である。設問1および設問2に適切に答えられるということは、

・・・なので、日本の産業革命はよかった。

・・・なので、日本の産業革命は悪かった。

というように論理的な価値判断ができていると判断できる。

設問3では、理由の中に善し悪しの両面から考えて結論を出していれば、多面的な価値判断ができていると判断できる。

論理的で多面的な価値判断ができていることで、

この題材における「思考力・判断力」は十分満足できると判定することができる。

なお、設問4は歴史的な意志決定力を問うものであるが、今回は授業での目標とはしなかった。

これが行ったワークシートの解答例である。

日本の産業革命の光と影
2年(B)組()番氏名()

1 日本は、産業革命を達成したことで、よかったことを答えなさい。

技術の成長
列強に肩を並べれる程に変わった
貿易をさかんにすることができた
経済力も世界的にみて大きくなった。

2 どんな問題(悪いこと)がおこったか答えなさい。

鉱山などの廃水や工場のばいじんなどの公害が発生し、工場で働く労働者のたいぐうが悪いという問題がおき貧富の差が極端に広がった。

3 あなたは、日本の産業革命はよかったと思いますか、悪かったと思いますか。その理由も答えなさい。

ア よかった **ア**
イ 悪かった

理由

日本の国際的地位を上げることができた。しかしその下で多くの人がぎせいとなったことを忘れてはいけない。

4 あなたは、どうすべきだったと思いますか。

労働者のたいぐうについて政府が規定をもうけるべき(最低賃金・労働時間の制限)だった。
公害については係争をおこしたり、公害の対策のための技術を研究していくべきだった。

この解答では、まず産業革命のよかった面、悪かった面の両方が適切に書かれている。設問3の理由では、善し悪しを両面から考えて判断していることが読みとれる。また、設問4でもこの問題を自分なりによく考えたことがうかがえる解答である。

このような評価基準で判定した結果、次のようになった。

2年A組	
・論理的な価値判断ができていると判断できる者	27名中25名
・多面的な価値判断ができていると判断できる者	27名中 8名

・日本の産業革命はよかったと答えた者 15名

・日本の産業革命は悪かったと答えた者 12名

2年B組

・論理的な価値判断ができていると判断できる者 25名中24名

・多面的な価値判断ができていると判断できる者 27名中 7名

・日本の産業革命はよかったと答えた者 14名

・日本の産業革命は悪かったと答えた者 11名

結果をみると、日本の産業革命はよかったと答えた者、悪かったと答えた者の人数はだいたい双方バランスがよく、授業自体は両方の立場を尊重できたと思われる。しかし、論理的な価値判断はほとんどの者ができていたが、多面的な価値判断ができていた者が少なかった。

多面的な価値判断ができなかった者に対するてだては、実際に授業では行えなかった。しかし、その方法としては、いろいろな立場に優先順位をつけさせることが考えられる。政府・資本家・労働者・農民・公害の被害を受けた人などどの立場の人を優先させるか、あるいは、日本の経済の発展・独立を保つこと・労働者や農民の生活・公害の防止などどれを優先させるべきかを生徒に順位をつけさせるのである。そうすることで、いろいろな立場について生徒がよく考えて、多面的な価値判断ができる者が増えるのではないだろうか。

4 おわりに

4つの観点による評価が実施されたことで、4つの観点をどう評価するかということに気が向きがちになるが、指導があってはじめて評価が可能になる。また、指導するためには目標が必要となる。したがって、4つの観点到応じたどのような目標をたて、どう指導し、それをどう評価するかを単元ごとに考えていかなければならない。しかし、どの観点についても指導と評価をもっともっと研究していく必要がある。私は一つひとつ苦悩しながら、毎学期・毎年改善していきたいと考えている。